

学校法人 加計学園 平成20年度事業報告 【岡山理科大学】

I. 事業の概要（総括）

《申請関係》

- (1) 大学院工学研究科知能機械工学専攻（修士課程）の設置届を提出しました。また、同専攻の教員課程認定申請を行いました。
- (2) 工学部に、学科横断型の教育を行う「工学プロジェクトコース」および化粧品開発分野の人材養成を行うバイオ・応用化学科のコスメティックサイエンスコースを開設するため学則変更届を提出しました。
- (3) 工学部情報工学科でJ A B E Eの認定申請を行いました。
- (4) 教育職員免許法の改正に伴い平成21年4月より教員免許更新制が導入されるため、教員免許更新講習の開設申請を行いました。
- (5) 設置基準の改正により、学部、学科、研究科、専攻ごとの教育研究上の目的を学則に明記し、公表するよう学則変更届を提出しました。

《人事・組織》

- (1) 平成20年4月より新学長として波田善夫教授が就任しました。
副学長は、管理運営担当に金枝敏明教授、教育研究担当に豊田真司教授が就任しました。
また、理学部長には林宏哉教授、工学部長には堂田周治郎教授（再任）、総合情報学部長には関達也教授が就任しました。
なお、研究科長は、岡山理科大学大学院研究科長選考に関する申し合わせに基づき、学部長が兼務しています。

II. 大学の概要

1. 学生の定員現員数

(平成20年5月1日現在)

研究科・学部・学科等		定員数		現員数				
		入学定員	収容定員	1年	2年	3年	4年	合計
大学院	理学研究科(修士)	76	143	87	81	—	—	168
	" (博士)	13	39	2	5	6	—	13
	工学研究科(修士)	61	129	43	41	—	—	84
	" (博士)	5	15	4	0	1	—	5
	総合情報研究科(修士)	25	52	32	36	—	—	68
	" (博士)	2	6	1	2	7	—	10
	計	182	384	169	165	14	—	348
理学部	応用数学科	85	340	108	106	118	96	428
	化学科	75	305	55	77	66	76	274
	応用物理学科	70	295	48	57	68	71	244
	基礎理学科	75	315	54	75	91	102	322
	生物化学科	85	355	100	111	114	112	437
	臨床生命科学科	85	335	93	103	93	112	401
	動物学科	40	40	62	—	—	—	62
	計	515	1,985	520	529	550	569	2,168
工学部	バイオ・応用化学科	75	335	81	63	69	73	286
	機械システム工学科	85	350	62	91	86	93	332
	電気電子システム学科	70	320	44	67	58	76	245
	情報工学科	85	390	90	110	123	87	410
	福祉システム工学科	—	—	—	—	2	—	2
	知能機械工学科	60	270	38	42	34	63	177
	生体医工学科	60	120	38	52	—	—	90
	計	435	1,785	353	425	372	392	1,542
総合情報学部	情報科学科	80	340	66	84	72	95	317
	コンピュータシミュレーション学科	—	80	—	—	21	25	46
	生物地球システム学科	70	310	65	74	73	92	304
	社会情報学科	70	280	96	71	66	46	279
	建築学科	80	160	55	56	—	—	111
	計	300	1,170	282	285	232	258	1,057
(学部計)		1,250	4,940	1,155	1,239	1,154	1,219	4,767
	理学専攻科	30	30	0	—	—	—	0
	教職特別課程	50	50	9	—	—	—	9
合計		1,512	5,404	1,333	1,404	1,168	1,219	5,124

(単位：人)

2. 学年暦

	春季休業	入学宣誓式	夏季休業	冬季休業	学年末休業	学位記授与式
岡山理科大学	4月1日 ～4月4日	4月3日	8月2日 ～9月19日	12月24日 ～1月7日	3月4日 ～3月31日	3月20日

Ⅲ. 各事業の概要

1. 教育・研究活動の進捗状況

《教育関係》

- (1) 理学部に動物学科を開設しました。
- (2) 工学部バイオ・応用化学科に好適環境水に関係したアクアバイオコースを開設しました。
- (3) 大学院理学研究科に臨床生命科学専攻を開設しました。
- (4) 数学教育センター相談室を改組し、学習相談室として25号館5階フロアにオープンしました。
- (5) 平成19年度の大学院WEBシラバス化に続き、学部においてもWEBシラバスの運用を開始しました。
- (6) 教育環境の整備やFD活動の充実に努めました。
包括的連携協力の一環として、岡山大学の協力を得て、12/4（木）FD講演会を開催しました。
- (7) 日本マレーシア高等教育大学連合プログラム（JAD）（3年次編入）による留学生を受け入れました。
- (8) 留年生や単位不足学生への就学指導の充実に努めました。
- (9) 小中学校等における学習支援、災害援助支援、清掃奉仕、防犯活動支援等のボランティア活動を行った学生に対し、申請に基づき単位認定しました。

《研究関係》

- (1) ハイテク・リサーチ・センター整備事業
工学研究科の大寺純蔵教授を研究代表者として、平成18年度から新規3年計画で開始され、平成20年度で事業が終了しました。
- (2) オープン・リサーチ・センター整備事業
自然科学研究所の板谷徹丸教授を研究代表者として、平成17年度から新規5年計画で開始し、平成20年度で4年目が終了しました。
- (3) 社会連携研究推進事業
工学研究科の金枝敏明教授を研究代表者として、平成18年度から新規5年計画で開始し、平成20年度で3年目が終了しました。

《学外連携》

- (1) 外部研究資金の獲得の推進、共同研究や受託研究をコーディネートします。
 - ① 科研費 37件 111,282千円
 - ② 共同研究 19件 12,090千円
 - ③ 受託研究 28件 97,240千円
 - ④ 競争的助成金 25件 52,841千円
- (2) 「OUSフォーラム2008」を岡山で開催する他、東京、大阪においても研究シーズの公開の企画を行ないました。
 - ① 「OUSフォーラム2008」の開催 (H20.11.21; 岡山(於))
 - ② 「新技術説明会」での発表 2名 (H20.7.25、11.18; 東京(於))
 - ③ 「岡山リサーチパーク研究・展示発表会」参加 (H21.2.6; 岡山(於))
 - ④ 「産業技術交流マッチング」での発表
- (3) 「特許セミナー」（特許相談会含む）を開催し、教員の研究成果の知的財産化の推進をしました。

本学出願特許による民間企業への有償技術移転2件

「特許セミナー」を2回開催（特許相談会も併せて開催）

- (4) 岡山県主催「100研究室訪問」に協力し研究室及び研究機器等を外部へ公開しました。
- (5) 岡山県主催「100社訪問」や金融機関の取引企業との交流会に参加し、学内研究者の地域産業界との交流を推進しました。
- ①岡山県主催 100社訪問参加 月2回開催
- ②㈱日本政策金融公庫 岡山支店 中小企業事業の交流会参加
- ③おかやま信用金庫主催の交流会参加
- (6) 岡山県教育委員会の委託公開講座（生涯学習大学；8日間延べ16講座）及び連携講座）を開講しました。
- H20.8.30からH20.11.1の間、毎週土曜日に開講。受講者18名（定員20名）。
- (7) 科学研究費補助金等の公的研究資金及びその他の研究費助成金公募の申請、報告ならびに私立大学学術研究高度化推進事業の予算計画、報告業務を取り纏めました。
- また、公的研究資金の不正使用防止の取組のため、研修会、物品検収を行ないました。
- (8) 大学教育改革支援事業応募の申請を行ないました。
- ①文部科学省管轄委託事業補助金「戦略的大学連携支援事業」（戦略GP：岡山大学、岡山理科大学、倉敷芸術科学大学、津山工業高等専門学校との連携による）に採択されました。
- （3年計画）
- ②文部科学省管轄委託事業補助金「質の高い大学教育プログラム」（教育GP：理大発科学ボランティアリーダー）に採択されました。（3年計画）
- その他、文部科学省管轄委託事業補助金「科学技術振興調整費」（おかやま医療機器開発プロフェッショナル）（工学部生体医工学科主体）（5年計画）に採択されました。
- また、文部科学省管轄委託事業「産学官連携戦略展開事業」（中国地方の大学連携岡山県から岡山大学、岡山理科大学、美作大学、津山工業高等専門学校が参加）と経済産業省管轄委託事業「地域イノベーション創出共同体形成事業」（中国地方の官庁、企業、大学で連携）にも参加しました。
- (9) 岡山県16大学が参加する「大学コンソーシアム岡山」の幹事大学として事務局を設置しました。
- (10) 国立大学法人岡山大学等と包括的連携・協力の協定を締結しました。
- （平成20年6月23日協定締結）
- (11) 世界遺産の屋久島において、自然保護と教育・研究活動の推進を図り、フィールド系の人材育成や自然インタープリター（解説者）の養成を行うため、屋久島野外活動総合センター(有)と岡山理科大学との間で連携協力に関する協定を締結しました。（平成20年11月11日）

入学者数・卒業者数等は下表のとおりです。

入学者数一覧 (平成20年5月1日現在)

		入 学 者	留 学 生	社 会 人
大学院	博士	7	2	0
	修士	162	4	0
学部		1155	27	0
専攻科		0	0	0
教職課程		9	0	0

(単位：人)

卒業者数等一覧 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

		卒 業 了 者 ・ 者	退 学 者	満 期 退 学 者	除 籍 者	休 学 者	留 年 者 ※
大学院	博士	7	0	3	0	1	2
	修士	148	10	0	2	1	5
学部		1190	115	0	12	44	183
専攻科		0	0	0	0	0	0
教職課程		9	0	0	0	0	0

※ 修業年限を超えて在籍している学生数

(単位：人)

2. 学生の募集・広報

《入試》

- (1) 加計学園特待生推薦入試(新設の3大学合同の推薦入試)を12月14日に実施し105名の志願者で27名の入学がありました。
- (2) 世界的経済不況の中リストラや家計の急変により、大学進学を断念せざるを得ない受験生に対し、経済的な支援を緊急に行うため、3大学同時に以下の事業を実施しました。

- a) 「緊急奨学支援制度」の設置
- b) 「加計学園緊急経済支援特別入試」の実施

《広報》

- (1) 加計学園特待生推薦入試、一科目の一般入試前期B1入試の新規導入等の寄与もあり志願者数をほぼ前年並みとしました。3969名(昨年4005名、対前年99%)

3. 就職活動状況

■就職支援内容について

- (1) 就職ガイダンスについては、3年次生の5月末より第1回を行い2月までに計6回実施しました。
- (2) 低学年から就職意識の向上を目的として低学年対象の進路・就職ガイダンスを行いました。1年次生には4月の新入生オリエンテーション期間中に1回、2年次生には6月、11月、12月と3回実施しました。
- (4) 求人情報を広く収集し、今年度は全国から求人情報3862件(昨年度3863件)の求人がありました。求人情報は、例年すべてデータ入力を行い、学生が希望の条件で検索できるようにしています。また、地域ごとに求人票およびパンフレットを保存し学生が自由に閲覧ができるように整備しています。
- (5) 就職部ホームページで学生に就職支援情報を告知しました。求人情報3862件、学内・学外会社説明会情報などを掲載し、学生に広く情報を提供しました。
- (6) 学生向けに広く情報を提供するため、大学のメーリングリストを利用し、求人情報・ガイダンスやセミナーの案内をメール配信しました。
- (7) 学生の企業研究等に役立てるため、約10万件の企業情報を更新しました。

■就職内定率および就職内定率の推移(2009年4月1日現在)

- (1) 平成20年度の就職内定率は全体で93%(昨年比-4%)となりました。
- (2) 学部別では理学部94%、工学部94%、総合情報学部89%となり、大学院全体では96%となっています。
- (3) 地域別就職先では関東24%、東海7%、近畿20%、岡山24%でいずれの地域も昨年度とほぼ同率となりました。

4. 財務関係

主な収入及び支出

(単位：千円)

年 度 科 目	19年度決算額	20年度決算額
学 納 金 収 入	7,761,787	7,350,813
補 助 金 収 入	1,186,642	1,026,461
そ の 他 収 入	490,883	511,541
帰 属 収 入 合 計	9,439,312	8,888,815
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 80,064	△ 83,962
消 費 収 入 の 部 合 計	9,359,248	8,804,853
人 件 費	5,403,545	5,204,374
教 育 研 究 経 費	2,849,372	2,808,908
管 理 経 費	525,034	597,845
そ の 他 支 出	150,481	159,109
消 費 支 出 の 部 合 計	8,928,432	8,770,236

○収支改善対策の具体的取組と効果

18歳人口の減少により、従来の入学者数の確保が困難となっており、学生生徒等納付金収入の増額が見込めない状況となってきています。今後は、学生生徒等納付金収入のみに頼らない財務体質を目指し、各種補助金や科学研究費補助金等への申請や企業との合同研究、受託研究、寄付金等の外部資金を積極的に獲得するように全学的に取り組みました。

また、支出削減策として下記の3事項を実施しました。

1. 学生数に対する教員定員の削減、大学院役職者の兼務等を実施し、人件費の支出抑制に努めました。
2. 研究費等の支出抑制のため予算決定後でも、入学者数が明確になった時点で配分予算について再審議し、実際の収入額に見合った配分に努めました。
3. 「大学院特待生」・「留学生学習奨励費」制度の見直しを手始めに、奨学費支出全体の削減に向けた検討を行っています。

《施設・設備》

(1) 施設関係	(千円)
① 第一学舎4階北側講義室改装工事を実施しました。	11,573
② 4号館屋上防水修繕工事を実施しました。	9,400
③ 第一学舎1・2階女子トイレ改修工事を実施しました。	12,721
④ 第二学舎エアコン改修工事を実施しました。	29,201
⑤ 第二学舎屋上防水修繕工事を実施しました。	5,700
⑥ 7号館3から4階中間部内部階段、トイレ改修工事を実施しました。	6,386
⑦ 11号館空調(冷暖房)設備新機種への改修(電気設備・取合改修工事)を実施しました。	20,320
⑧ 22号館北側樹木伐採及び金網取付工事を実施しました。	950
⑨ 笹ヶ瀬駐車場整備工事を実施しました。	14,729
⑩ 20号館2階動物実験教員実験室改修工事(科研費間接経費)を実施しました。	2,600
⑪ 10学舎外周整備工事を実施しました。	2,000
⑫ 25号館1階岡山理科大学トラベルセンター開設に伴う改修工事を実施しました。	2,000
⑬ 土地購入(岡山市北区津島東)をしました。	6,750
(2) 装置・設備関係	
① 11号館図書館の電動書架64台駆動部(電動機器一式)機種改修を行いました。	12,700
② サイバーキャンパス基盤ネットワークシステム(情報処理センター)	63,630
③ 工学部共通コース実施に伴うシステム改修(教務部)を行いました。	3,800
④ 工学部共通コース実施に伴うシステム改修(入試広報部)を行いました。	5,300
⑤ 全室素分析装置を購入しました。	6,900
⑥ 水銀測定装置を購入しました。	2,460
⑦ 淡水化混泳八角水槽を購入しました。	6,820
(3) 届出・申請補助事業関係	
① 工学部生体医工学科 学術雑誌(創設費)	810
② 総合情報学部 建築学科・学術雑誌(創設費)	745
③ 理学部新設学科(理学部動物学科)校舎(来年度竣工のため建仮のみ)	31,500
④ 理学部新設学科(理学部動物学科)機器・器具	13,707
⑤ ハイテク・リサーチ・センター共同研究費	60,216
⑦ オープン・リサーチ・センター共同研究費	26,632
⑧ 社会連携研究推進事業共同研究費	66,688